

一般質問

■本市のヤングケアラー対策について  
**様々な関係機関との連携や支援を！**

**質** 本市におけるヤングケアラーの実態について、どのように把握しているのか伺う。

また、ヤングケアラーの支援について、教育現場と福祉、介護、医療その他関係部署との連携など、どのように進めていく予定なのか伺う。ヤングケアラーを早期発見し、福祉につなげていくためには、児童・生徒はもちろん、より多くの関係者にヤングケアラーの周知が必要と考えますが、見解を伺う。

**答** 本年5月から6月の期間に、市内小学校5・6年生及び中学生を対象に、実態調査を実施している。ヤングケアラーに当てはまると回答した小・中学生はそれぞれ約1%程度であったが、ペットを家族と考えて世話をしている児童であったり、兄弟姉妹の世話をしているが、苦痛に感じていないと回答するなど、現在のところ、特に支援が必要な状況ではないという認識である。

ヤングケアラーの支援については、市と学校との連絡体制が整っており、該当する児童・生徒がいる場合は、公認心理士が児童家庭支援センターに配置されており、児童・生徒及びその保護者等の相談を受け、必要な支援につなげていく体制を取っている。

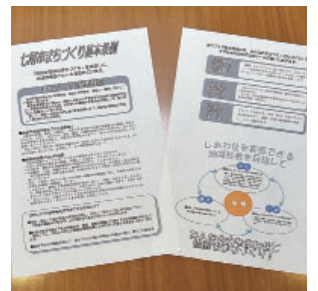
今後は、11月の児童虐待防止月間にチラシの街頭配布、市内高校生へのリーフレット配布を行いヤングケアラーの認知の拡大を図ってきたい。



江曾 ゆかり 議員  
 (無党派)



高橋 正浩 議員  
 (無党派)



一般質問

■七尾市制20周年に向けての取り組みについて

**記念事業の計画と取り組みについて伺う。**

**質** 来年度の市制20周年の記念事業について、事業の計画と取り組みへの市長の考えを伺う。

また、まちづくり基本条例の見直しについて、前回会議において、市民の参画を募るとの答弁であったが、その進捗状況を伺う。併せて、市制30周年の次の節目に向けてのビジョンや計画策定の予定はないか伺う。

**答** 市制20周年では、これまでの発展と歩みを振り返り、先人の功績に感謝をしつつ、さらなる地方創生と持続可能なまちづくりを進める起点の年と捉え、記念事業を行う。国内にとどまらず、広く世界へ発信する取り組みや市への愛着と誇りを持つことができるようなものとして考え、事業提案を職員に広く募集し、議論と検討を進めている。個別具体的な取り組みには、必要に応じて市民の皆様のご意見も伺っていききたい。

まちづくり基本条例の見直しは、令和6年度中に行い、今後、審議会の構成メンバーや人数、進め方などの整理を進める。

次の10年の計画については、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略に合わせて、第2期七尾まち・ひと・しごと創生総合戦略を見直し、令和6年度からの取り組みについてもしっかりと盛り込んでいきたい。